

# 菅原傳授手習鑑

佐太村の段は櫻丸切腹の段ともいひ「菅原傳授手習鑑」の三段目の切て、かの寺子屋の段の前段に當る

▼……佐太村に住む農夫四郎五郎改め白太夫は大恩ある菅相丞の言葉に従ひ、七

▼……今晚の放送はその後半の部分で、梅王と松王が兄弟喧嘩の末、白太夫に追出されて歸つて行つたところからである

▼……出演の鑊太夫は東京の出身で譜太夫の教へを受けたが、後、伊達太夫（今

# 義太夫

## 櫻丸の切腹

淨るり 竹本鑊太夫

三味線 豊澤新左衛門

十の賀の祝ひ、舎人に出仕してゐるわが子の梅王、松王、櫻丸の三つ子三夫婦を招待したが、櫻丸は自分の過ちから菅相丞が流罪になつたことを悔み、その申譯に切腹して果てるといふ父子夫婦の死別を描いた淨るりである

の土佐太夫に預けられ、近松座を経て交樂座に入つた、現在同座の重要な地位を占めてゐる、合三味線の豊澤新左衛門は近松座で故春子太夫の合三味を勤め、文樂に入つて一時古靱太夫の合三味線を勤めた老練である

# 佐太村の段